

第8回 特別講演会

最近日本に侵入した外来の陸貝オオクビキレガイ

講師：松隈明彦先生（九州大学総合研究博物館館長）

オオクビキレガイは地中海沿岸原産の陸貝（マイマイの仲間）です。現在は大西洋の島々、南北アメリカ大陸、東アジアにも分布しています。日本では1988年に北九州市で初めて確認されました。その後、徐々に分布域を拡大して、福岡県北部、山口県西部に広く見られるほか、熊本県、佐賀県、大分県、愛媛県、和歌山県、千葉県の一部でも知られています。

オオクビキレガイは夜行性、雑食です。冬は枯れ草や木切れの下などに潜って冬眠します。地中海性気候の地域では、乾燥する夏にも活動を休止して夏眠を行い、原産地では農作物の「深刻でない害虫」と呼ばれています。一方、夏に大量の雨が降る西日本では3月から11月くらいまで活動し、農作物、特に発芽直後の野菜や花の若い苗を活発に食べて、家庭菜園などに深刻な被害を与えています。

外来種は、（1）農作物への食害、（2）人体に有害な寄生虫の有無、（3）生態系の攪乱という3つの面から注意する必要があります。地球温暖化が進むと、オオクビキレガイは西日本では冬眠をしなくなる可能性があります。雌雄同体で自家受精も普通に行うというオオクビキレガイの繁殖戦略は、大発生と一挙の絶滅という可能性を秘めています。日本にはどこから来たのか、国内での拡散方法、拡散速度、駆除方法、オオクビキレガイが今後どのような道をたどるのか等について分かりやすく解説します。

- ・開催日時：平成22年3月7日（日）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホタルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。

豊田ホタルの里ミュージアム

電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355

E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

※FAXでお申し込みの方は下記フォームにご記入いただき、このままFAXしてください。

- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名



オオクビキレガイ

豊田ホタルの里ミュージアム 行

FAX：083-767-0355

第8回「豊田ホタルの里ミュージアム特別講演会」参加申込書

(ふりがな)
氏 名

(ふりがな)
住 所 (〒 -)

電 話 - -